



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.70 2017年4月

3月議会

「行政サービスコーナー」廃止について

3月15日、文教市民委員会が開かれました。わたしは「行政サービスコーナーについて」「消費者行政（特殊詐欺）について」「英語教育について」「道徳教育について」「放課後子ども教室について」「自然博物館について」「小中学校の修繕について」と7項目について、質問・意見を述べました。主なものをお知らせします。

(出町)

代表質問や本会議でも多くの質問、意見がでています。また、2月27日、服部図書館行政サービスコーナー存続についての要望書が清水地区コミュニティ協議会会長、北清水連合自治会長、真上コミュニティ協議会会長の連名で出されています。地域の代表の皆さんの要望です。

お聞きします。

(市の答弁)

1問めの質問についてですが、昨年11月以降、行政サービスコーナーの業務終了について、市民の皆様に向けた広報活動や、行政サービスコーナーの窓口でポスターを掲載したところ、利便性が向上した代替サービスのコンビニ交付が、利用できるというところで、ほとんどの方が納得されておられます。

コンビニの使いやすさの周知不足によるところもあると認識し、引き続き、「理解いただけるよう、丁寧な説明に努めます。」

(出町)

1問めの答弁で、連合自治会の要望に対して、マイナンバー制度やコンビニ交付の使いやすさの周知不足にあると言われましたが、本当にそうでしょうか。高齢者にとって、マイナンバーカードでのコンビニ交付は無理があります。この要望書は服部地域の市民の声です。

コンビニが一定の市民サービスの役割をはたしてきたことは、誰が考えても明らかです。手数料がいらぬ証明書などは、対面での対応でわかることもあります。

(市の答弁)

本会議でも言われていましたが、公民館は今まで通り残すとか、コンビニが少ないところや交通の便が悪いところについては、9月廃止ではなく、一定期間様子を見ることができると思います。市の考えをお聞きします。

もに、マイナンバーカードの普及促進を図ってまいります。なお、9月以降につきましては、状況を見守ってまいります。

(出町)

どうも、考えても、今年の9月の行政

サービスコーナーの全廃はあまりにも無理があります。広報で数回知らせたとしても、まだ知らない人もたくさんいました。ぜひ、もう一度立ち止まって見直すよう、要望します。

産業廃棄物焼却施設

上牧地域に「都市クリエイト」が産業廃棄物焼却施設を建設しようとしています。計画では1日94・8トン、煙突30メートル、24時間連続運転、年間3000日稼働させるとしています。1日に70台の車が入ります。1000メートル圏内に学校、保育園、幼稚園などが10か所もあります。

地元の住民のみならずが中心になって反対運動に取り組んでいます。署名も短期間ですでに2万筆をこえて集められています。日本共産党は「環境に危険なものを保育所、学校の近くでいいのか、農地を守るということでも反対の声が多くあがっている。住民のみならずの意見をぜひ、判断基準にしてほしい。市民と議会と行政がしっかりと考えることが必要だ」と強く求めました。

道徳教育について

2018年度に小学校、2019年度に中学校で道徳が教科化になります。私は「教科化になれば、道徳の授業は今までと比べてどう変わるのか」を聞き、「教科化になれば評価をしなくてはならなくなる。どのような評価になるのか」と質問しました。

市は「これまでも、各学校で『道徳の時間』に読み物教材を中心に、道徳的価値の大切さをしっかり考えさせる授業をしてきた。今後も話し合いなどを通して、道徳的価値の大切さについての考えを深め、自分で判断して行なうことができる力を育てていく」と答えました。

評価については「数値や他の児童生徒との比較ではなく、記述式で行う」とのことです。

わたしは、「現在は『道徳の時間』に、国が作成した道徳用教材『わたしたちの道徳』が使われているが、読

むと、どうしても一つの価値観に導かれるのではと思う。記述式の評価と言われたが、評価の基準をどうするかという問題も出てくる。先生によって評価が違ってくれば、公平な評価ができないことになる。また、今の授業時間を減らさず、一教科増えることになるので、子どもや教員への負担が増えるのは間違いない。道徳教育の教科化は多くの問題がある」と指摘しました。

英語教育について

小学校での英語教育について質問しました。

わたしは、「高槻市は2018年度から、3・4年生の英語の時間を実施するとしている。現在、2年生では理科と社会を合わせた生活の時間が週2コマある。これが3年生になると社会が週2コマ、理科が週2コマ、それ以外に総合が週2コマ増える。その上週1コマ英語が増える。学習指導要領で

る。どうやって時間を確保するのか」と質問しました。

市は「小学3年生で週あたり45分の授業時間を確保する必要があるので。例えば15分の短時間を3回設定、長期休業期間の学習、土曜日の活用、週当たりの授業時数を増加するなど考えられる」と答弁。

私は「子どもと教師に大きな負担を与えることははっきりしている。学習指導要領で

は小学校で600、700程度の単語を習得させるとし、中学校の英語の授業は基本的に英語で進めるとしている。

小学校で英語授業についていけない子どもは、あつという間に中学校でもついていけなくなる。英語教育の目的は、社会に出て、英語を使って活躍したいと思っただ時に努力すれば、使える力をつけられる素地を培っておく

ことだ。」と意見を述べました。

「合葬墓」が建設されます

ひとり暮らしの方や、次世代の墓守に負担を負わせたくないという市民のみなさんからの要望をもとに、高槻市でも市営公園墓地の中に合葬墓が建設されます。開始は2019年度の予定です。今後墓地基本計画を策定するとしていますので、また、お知らせします。

